



2020

2019.4.1～2020.3.31

2020年3月期

決算説明資料



アドソル日進

代表取締役社長 上田 富三

2020年5月26日

「2020年3月期」の
決算概要や、当社の取組みを、ご説明いたします。

2020年3月期 決算概要

2021年3月期 業績見通し

2

まずは、
「2020年3月期、決算概要」から、
ご説明いたします。

◆10期連続 増益!!

売上高	<u>133億15百万円</u>	・前期比	+ <u>9.2%</u>
営業利益	<u>12億13百万円</u>	・前期比	+ <u>19.9%</u>
配当	<u>32円</u>	・前期比	+ <u>5円増配</u>

＜新型コロナウイルス感染症 業績への影響＞

- ・ 業績影響なし
- ・ 新型コロナウイルス対策本部（2020年1月～）
- ・ ICT投資（在宅テレワークなど）

3

2020年3月期、業績の総括です。

まず、新型コロナウイルス感染症による、業績影響は、ありませんでした。

売上高は、「9.2%」増の「133億15百万円」、営業利益は、「19.9%」増の「12億13百万円」と、

最高売上の更新と、10期連続の営業増益となりました。

配当は、前期比、「5円増配」の「年間32円」と、「10期連続」の増配を、予定しております。

◆ **最高売上・最高利益（10期連続）更新!!**

(単位：百万円)	2019/3		2020/3		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	12,194	-	13,315	-	1,120	9.2
社会インフラ事業	7,435	61.0	8,862	66.6	1,427	19.2
先進インダストリー事業	4,758	39.0	4,452	33.4	△306	△6.4
売上総利益	2,820	23.1	3,284	24.7	463	16.4
販売管理費	1,808	14.8	2,070	15.5	262	14.5
営業利益	1,012	8.3	1,213	9.1	201	19.9
経常利益	1,012	8.3	1,236	9.3	224	22.2
当期純利益	687	5.6	824	6.2	136	19.9
受注高	12,382	-	14,259	-	1,876	15.2
受注残高	2,223	-	3,167	-	943	42.5

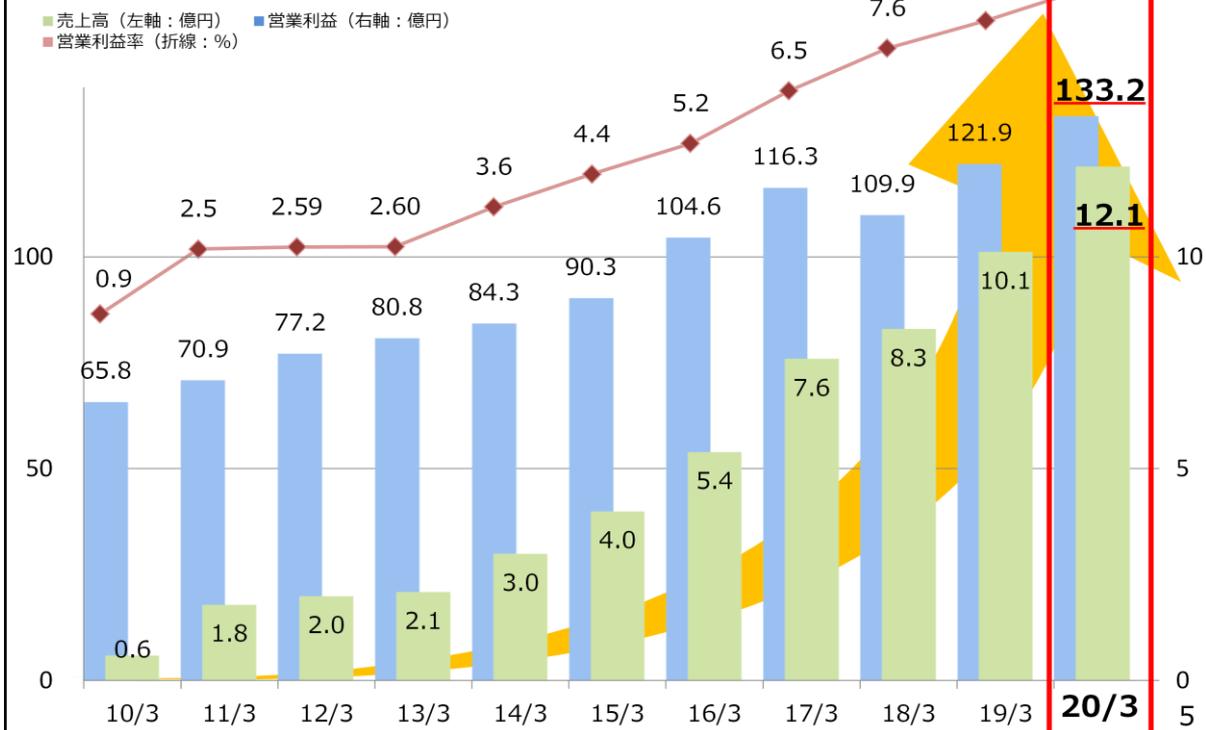
4

それでは、2020年3月期の、
損益計算書の概要を、ご説明します

- ・ 「売上総利益率」は、
「1.6ポイント」アップの、
「24.7%」、
- ・ 「営業利益率」は、
「0.8ポイント」アップの
「9.1%」と、なりました。

2020年以降を見据えた「投資」も、
しっかり、行っておりますが、
「過去最高利益」で、着地しました。

◆ 10期連続 増益／利益率アップ



ここで、業績と、利益率の推移を、ご説明します。
「2010年」から「10期連続の増益」を達成し、

更に、「収益性」も、ご覧の通り、
毎年、着実にアップしております。

電力・ガスをはじめとした、「社会インフラ」と、
自動車、メディカルなどの、「先進インダストリー」、
そして、
セキュリティや、GIS:地理情報システム、近距離無線などの
「当社オリジナル・ソリューション」で
着実に成果が、出ております。

今後も、増収・増益に加え、収益性の向上を
図ってまいります。

- ◆ **社会インフラ事業** : **エネルギー** (電力・ガス)
- ◆ **先進インダストリー事業** : **基盤** (決済・データサービス)、**制御** (メディカル、次世代自動車)
- ◆ **IoX総合エンジニアリング事業** : **IoTセキュリティ**、**GIS** (地理情報システム)

	2019/3		2020/3		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位: 百万円)						
売上高	12,194	-	13,315	-	1,120	9.2
社会インフラ事業	7,435	61.0	8,862	66.6	1,427	19.2
エネルギー	5,680	46.6	6,863	51.5	1,182	20.8
交通・運輸	935	7.7	1,317	9.9	382	40.9
公共	198	1.6	160	1.2	△38	△19.2
通信・ネットワーク	621	5.1	521	3.9	△99	△16.0
先進インダストリー事業	4,758	39.0	4,452	33.4	△306	△6.4
制御システム	2,047	16.8	1,943	14.6	△103	△5.1
基盤システム	1,939	15.9	1,958	14.7	19	1.0
ソリューション	772	6.3	549	4.1	△222	△28.8
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,917	32.1	3,421	25.7	△495	△12.6

6

つづいて、セグメント別の概要です。

「社会インフラ事業」では、
電力・ガスの「エネルギー分野」、
旅行や宇宙関連の「交通・運輸分野」が好調に推移し、

また、
「先進インダストリー事業」では、
決済基盤などの「基盤システム分野」が、
計画通り推移しました。

それでは、次項以降で、
詳細の、ご説明をいたします。

受注状況

- エネルギー
 - 電力：分社化、基幹システム、新領域
 - ガス：分社化、基幹システム、IoT・DXテーマ（クラウド、アジャイル、IoT等）
- 交通・運輸
 - 旅行関連は、拡大（新サービス向け案件、システム更改案件他）
 - 宇宙関連は、計画通り推移
- 通信・ネットワーク
 - 次世代通信（5G）継続



まず、「社会インフラ事業」です、

- ・「エネルギー分野」は、電力・ガスの、「分社化」や、「IoT・DX」等をキーワードに、旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・「交通・運輸分野」では、旅行関連の更改需要を取り込み拡大しました。また、中期的な成長のカギとなる、「宇宙関連」も、しっかり対応しております。

結果、

売上高は、

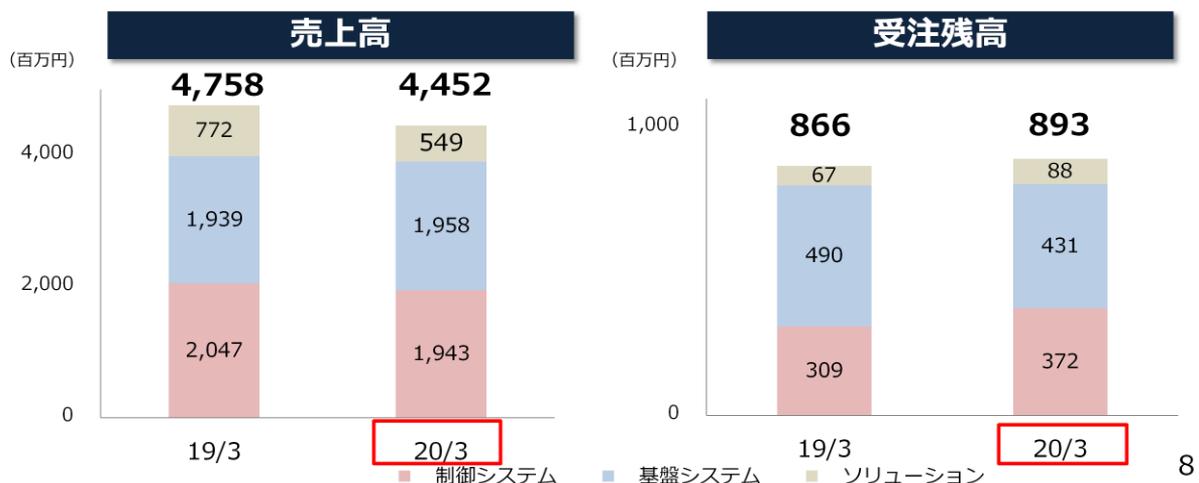
「19.2%増」の「88億62百万円」、

また、受注残高は、

2022年に予定される、ガス会社の法的分離・大型案件を受注したことにより、「67.7%増」の、「22億74百万円」と大きく増加しました。

受注状況

- 制御システム
 - メディカル：多拠点・分散開発推進
 - 次世代自動車、IoT基盤、オフィス機器等は計画通り
- 基盤システム
 - 決済基盤、データサービス関連：対応領域拡大
- ソリューション
 - LynxSECURE：採用継続（医療情報ネットワークシステム）
 - GIS（地理情報システム）：ソリューション強化・拡充
 - セキュリティ・コンサルティング 終了



続いて、「先進インダストリー事業」です。

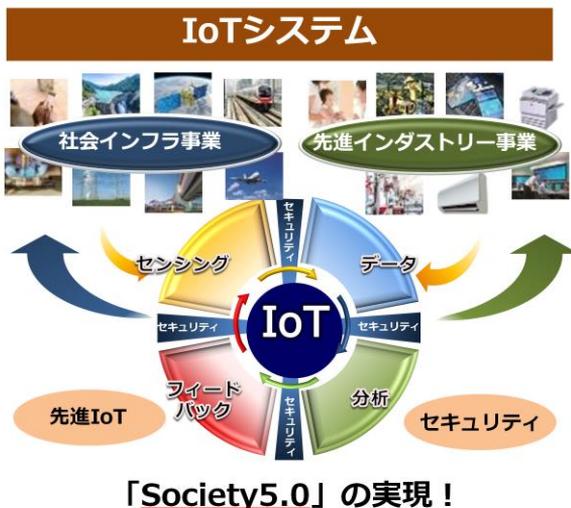
- ・「制御システム分野」では、「メディカル関連」で、持ち帰り開発への取り組みを、強化した結果、増加したほか、先進EVや、自動運転等の「次世代自動車関連」や、IoT基盤関連、オフィス機器などが、計画通り推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、決済基盤や、データサービス関連を中心に取り組みました。
- ・「ソリューション分野」では、IoTセキュリティの、LynxSECUREの採用継続や、GIS: 地理情報システムでのソリューション強化などに取り組みましたが大手企業向けの、セキュリティ・コンサルティングが、終了し、社会インフラ事業の、エネルギー関連等にシフトしました。

以上の結果、売上高は、「44億52百万円」、また、受注残高は、「8億93百万円」となりました。

受注状況

- 先進的なIoTデバイス制御関連（次世代自動車等）
IoTプラットフォーム関連、GIS（地理情報システム）
- セキュリティ・ソリューション：LynxSECURE 継続
- セキュリティコンサルティング 終了

**IoTの
取組み!**



9

続いて、当社の、IoT関連の取組みを示す、「IoX総合エンジニアリング事業」です。

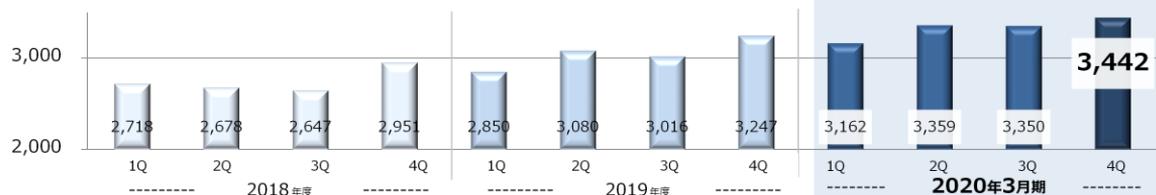
- ・「IoT関連」では、
「IoT・プラットフォーム関連」、「GIS:地理情報システム」等が計画通り、推移しました。
- ・「セキュリティ関連」では、
セキュリティ・ソリューション:LynxSECUREが、医療情報ネットワークシステムで採用されました。
尚、セキュリティ・コンサルティングが前期末で終了しております。

以上の結果、売上高は、「34億21百万円」と当社のICTシステム開発の「25%」が「IoT関連」となっております。
引き続き、「IoTや、DX」への取組みを推進し、「Society5.0」の実現に、貢献してまいります。

四半期別推移

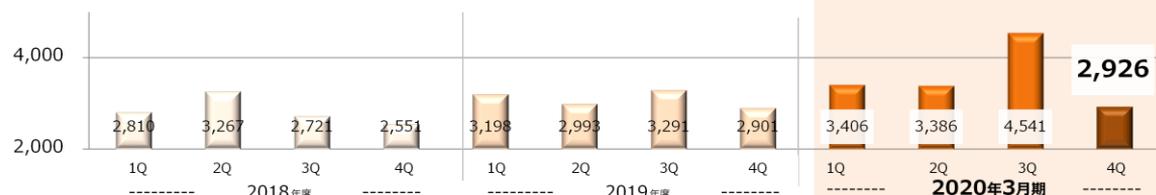
売上高

●“全・四半期”・最高売上高 更新!!



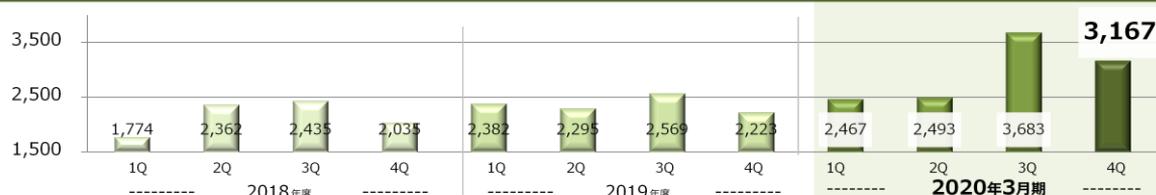
受注高

●4Q 最高受注高 更新!!



受注残高

●31.6億円 (前年同期比+9.4 億円)

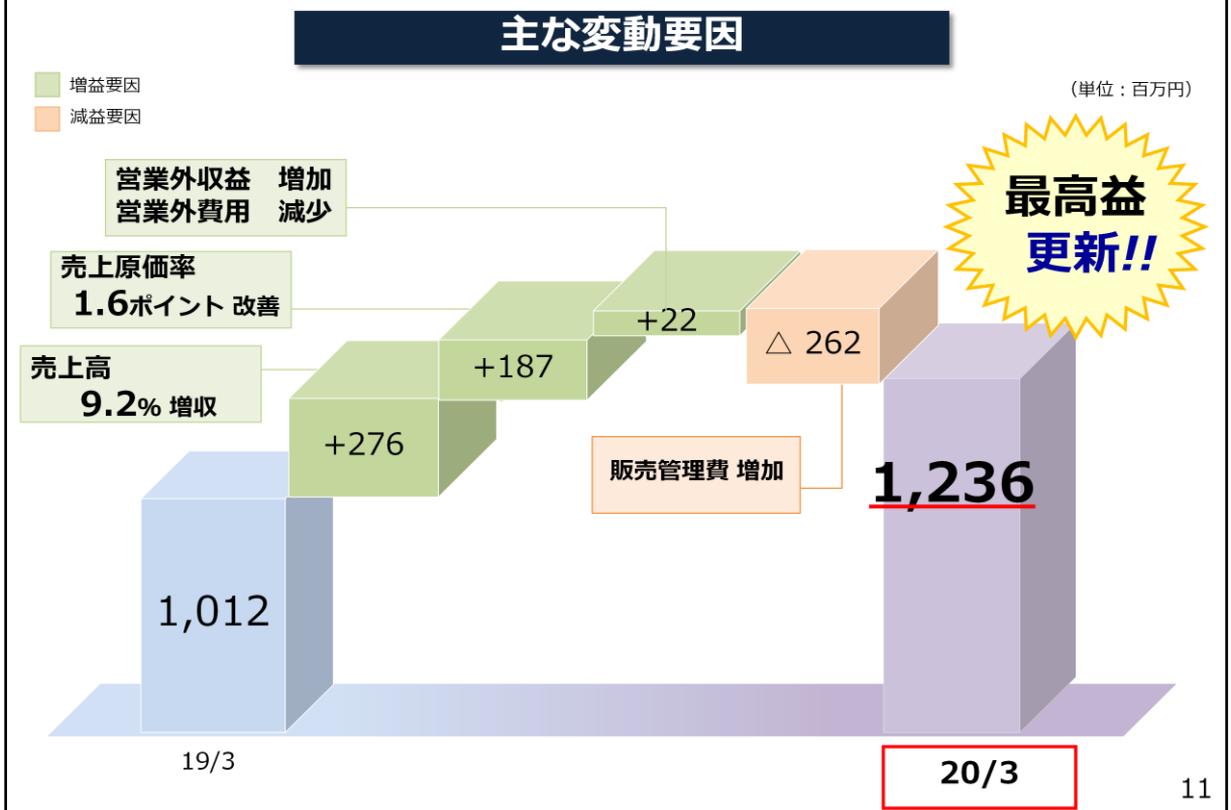


10

四半期毎の

「売上高」、
「受注高」、
「受注残高」は、
ご覧の通りです。

尚、2022年に予定される、「ガス会社の法的分離・大型案件」を、この第3四半期に受注し、受注残高が、大きく増加しております。



続いて、経常利益の分析です。

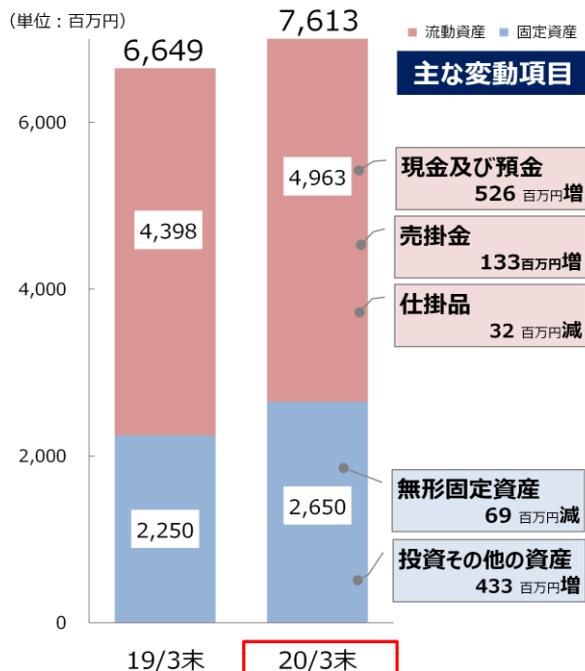
「増収効果」や、
「原価率」の、改善等により、

「投資」による、販売管理費の 増加を吸収し、

「 12億36百万円 」と、
「 過去最高 」を更新しました。

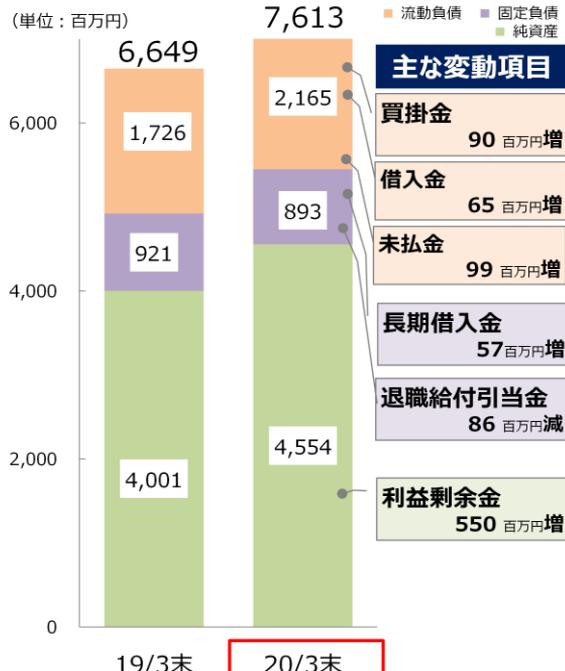
資産

● 総資産：76 億円 (9.6億円 増)



負債・純資産

● 自己資本比率：58.3%



貸借対照表は、ご覧の通りです

自己資本比率は、「58.3%」と、健全な状況を 保っております。

概要

(単位：百万円)	19/3	20/3	変動要因	
営業活動	436	1,208	・税引前当期純利益	1,235
			・減価償却費	95
			・退職給付引当金の減少	△86
			・仕入債務の増加	90
			・未払金の増加	86
			・法人税等の支払額	△350
投資活動	△611	△596	・有形固定資産の取得による支出	△50
			・投資有価証券の取得による支出	△364
			・関係会社株式の取得による支出	△150
財務活動	△245	△85	・短期借入金の純減少額	△100
			・長期借入れによる収入	350
			・長期借入金の返済による支出	△127
			・配当金の支払額	△273
現金及び現金同等物の 期末残高	1,372	1,899	※フリーキャッシュ・フロー … 612百万円	

キャッシュ・フローの状況は、
ご覧の通りです。

2020年3月期 決算概要

2021年3月期 業績見通し

次に、
今期、「2021年3月期」の、
「業績見通し」について、
ご説明いたします。

◆2021年3月期（見通し）

・ 底堅い ICT 需要

- 社会インフラ

「エネルギー（電力・ガス）」 「道路・鉄道・航空」 「公共・防災」 「宇宙」 「情報通信：5G」

- 先進インダストリー

「自動車（次世代EV、自動運転）」 「メディカル（医療、介護）」 「産業・設備」

・ 豊富な開発テーマ

- 「DX」、 「IoT」

「サイバーセキュリティ」 「データ保護」

・ 開発プロジェクトへの影響低減

- 在宅テレワーク（開発技術者の安全）

- 開発スケジュールの延伸・縮小・中止の懸念

※DX：デジタル・トランスフォーメーション

15

まず、新型コロナウイルス感染症による、業績影響ですが、

当社が注力する社会インフラを中心としたICT需要は底堅く、IoTや、DXなど、開発テーマも豊富にあります。テレワークなど、開発プロジェクトへの影響を低減する施策も推進しており、大きな影響はないものと見込んでおります。

デジタル・イノベーションで 未来を拓く



中長期的なICT投資需要として、
電力・ガスのエネルギーをはじめとして、
宇宙、防災、情報通信5Gなどの社会インフラ、
そして、自動車やメディカルなどの先進インダストリー、
いずれも、底堅いICTニーズがあります。

加えて、効率化や、働き方改革などにむけ、
「DX」や、「AI」、「IoT」などをキーワードに、
開発テーマも豊富にあります。
更に、情報デジタル化の高まりと相まって、
機密情報やデジタル・データの保護など、安全保障につながる
セキュリティ対策や、サイバー攻撃対策が急がれております。

これらのICTニーズに、デジタル・イノベーションで未来を拓く、
先進的なDX、IoTソリューションの提供を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

底堅い「ICT投資需要」

社会インフラ

◆事業基盤の更なる強化

エネルギー（電力・ガス）：「自由化・分社化」・「安定供給」・「サービス充実」
「エネルギー効率」・「環境負荷問題」

◆対応領域の拡大と、新サービス創出

「道路・鉄道・航空」、「公共・防災」、「宇宙」、「情報通信：5G」

先進インダストリー

◆日本のモノづくりの DX・IoT化

・自動車：「自動運転」「次世代EV」などの、先端研究
・メディカル：「医療機器」「医療情報システム」「介護関連システム」など

ソリューション

◆デジタル・イノベーション

・「ICTサービス」、「ソリューション」展開：「GIS（地理情報システム）」「近距離無線」

◆セキュリティ・ソリューション

・「施設」、「設備」、「デジタル・データ」の、“安心・安全”：「LynxSECURE」

持続的な成長に向け、2021年3月期は、

社会インフラ事業では、

エネルギー（電力ガス）で、自由化・分社化に続く、安定供給などのテーマをしっかり対応し、事業基盤の強化を図ると同時に、「道路・鉄道・航空」、「公共・防災」、「宇宙」、「情報通信：5G」等で、対応領域の拡大と、新サービス創出の取り組みを強化します。

次に、先進インダストリー事業では、

自動運転や、次世代EVなどの自動車、そして、医療・介護のメディカルなどを中心に、日本のモノづくりのDX、IoT化でしっかり貢献して参ります。

さらに、

IoTサイバーセキュリティのLynxSECUREや、GIS：地理情報システム、近距離無線など、当社オリジナル・ソリューションの展開により、デジタル・イノベーションに貢献してまいります。

◆ **11期連続 営業増益!!**

(単位：百万円)	2020/3		2021/3(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	13,315	-	13,500	-	184	1.4
社会インフラ事業	8,070	60.6	8,598	63.7	529	6.6
先進インダストリー事業	5,246	39.4	4,902	36.3	△119	△6.6
売上総利益	3,284	24.7	3,375	25.0	90	2.7
営業利益	1,213	9.1	1,220	9.0	6	0.5
経常利益	1,236	9.3	1,244	9.2	7	0.6
当期純利益	824	6.2	826	6.1	2	0.2

※2021/3期より、「旅行関連」を、先進インダストリー事業に変更しました。

18

2021年3月期、通期の業績見通しです。

底堅いICT需要を背景に、
コロナの影響により新規案件の立ち上げ遅れが
一部懸念されるものの、

売上高は 135億円
営業利益は、12億20百万円を、
見込んでおります。

◆ 社会インフラ 拡大 (エネルギー、宇宙など)

	2020/3 2Q		2021/3 2Q(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
(単位：百万円)						
売上高	6,522	-	6,680	-	158	2.4
社会インフラ事業	3,918	60.1	4,207	63.0	289	7.4
先進インダストリー事業	2,605	39.9	2,473	37.0	△131	△5.0
売上総利益	1,649	25.3	1,670	25.0	20	1.3
営業利益	622	9.5	571	8.6	△51	△8.3
経常利益	636	9.8	585	8.8	△51	△8.1
四半期純利益	439	6.7	412	6.2	△26	△6.2

19

2021年3月期、上期の見通しです。

過去最高を記録した、3月末の受注残高を背景に、売上高は、前期を上回る見込みです

利益面では、新型コロナウイルス感染症による、一部案件の、プロジェクト開始の延期や、新入社員の研修期間の延長などを、織り込み、第2四半期においては、前期を下回る見込みです。

◆ 配当方針

- 配当性向 **35%**以上
- **連続増配**
- 配当計画 年 **2** 回（中間、期末）

◆ 配当予想

(単位：円)	2020/3	2021/3
中間	14	16
期末	18	17
年間	32	33

◆ 配当推移



続きまして、配当です。

配当性向は、「 35%以上 」、
株主配当は、「 中間・期末の 年2回 」と、
しております。

今期は、
「 上期 16円」、「 下期 17円 」の、
「 年間 33円 」で、
「 11期 連続増配 」を見込んでおります。

なお、
今期の配当性向は、「 36.8% 」の見込みです。



2020年3月期の取組み



21

2020年3月期を中心に、
当社の取組みを、ご紹介します。

アドソル日進 の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム 2019
- 3) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド活動

- 1) プロモーション活動
- 2) 高品質への取組み

4. ご参考



22

ご覧の項目について、
ご説明いたします。

事業領域の拡大

社会インフラ事業

- 事業基盤の強化 ⇒ ・電力関連（分社化・発送電分離）
・ガス関連（分社化、導管分離）
- 新領域の開拓・拡大 ⇒ 「宇宙」「物流」「5G（次世代通信）」

先進インダストリー事業

- ものづくりIoT化 ⇒ 「次世代EV自動車」「自動運転」「産業機器」ほか
- キャッシュレス ⇒ 「次世代決済・カード」
- 新領域の展開 ⇒ 先進技術の活用：「ビッグデータ」、「AI」

新たな価値の創造・提供に挑戦

IoX総合エンジニアリング事業

- 差別化技術 ⇒ 「IoTサイバー・セキュリティ・リユース」
「AI」「ビッグデータ」「GIS（地理情報システム）」「無線通信」

競争優位の発揮

- ソリューション強化 ⇒ AI-IoTプラットフォーム（クラウド型）
- 産学連携・共同研究 ⇒ IoTセキュリティ・GIS・マルチコア

23

重点戦略では、
社会インフラ事業、先進インダストリー事業
それぞれで、
電力、ガス、宇宙、5G、次世代自動車、AI等の
先進技術をキーワードに、
事業領域の拡大につながる重点施策を
推進してまいりました。

また、
「IoTサイバー・セキュリティ」「AI」、
「GIS（地理情報システム）」等で
新たな価値の創造・提供に取り組み、

更に、
AI・IoTプラットフォームなどのソリューションや、
産学連携などを通じて
競争優位を発揮してまいりました。

アドソル日進 の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム 2019
- 3) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド活動

- 1) プロモーション活動
- 2) 高品質への取組み

4. ご参考



次に、セキュリティへの取組みを、ご紹介します。

“隔離” “遮断” “データ保護”

IoT デバイス

- ・IoTセキュリティソリューション：LynxSECURE
- ・旧OSを守る：SECURE RESCUE
- ・独自製品 開発・展開

セキュア ログサーバ
LynxSECURE



コンサルティング

- ・セキュリティ・ガバンスの設計
- ・セキュアシステムの設計・構築・運用・導入支援
- ・脆弱性診断

制御システム

- ・SECURE FACTORY
- ・“ネットワーク分離”
- ・“安全なデータ通信”
- ・“システム・ダウンを防ぐ”
- ・“内部感染防止”

人財育成

- ・セキュリティ人材育成
(サイバーセキュリティ、IoTセキュリティ)

ネットワーク

- ・重要インフラ分野
- ・各種施設 (工場、病院、介護 など)

セキュア アダプター セキュア ゲートウェイ
セキュア ラップトップ



非接触!

特許!

入退室セキュリティ

- ・「タッチタグ」
(電界通信)
- ・エントランス監視
- ・フードディフェンス



25

当社が注力する、
IoT・サイバーセキュリティ・ソリューションは、
ご覧の、

- ・「IoTデバイス」
- ・「制御システム」
- ・「ネットワーク」
- ・「コンサルティング」
- ・「人材育成」や
- ・特許を保有しております、電界通信を活用した、
非接触の「フィジカル・セキュリティ」等、

幅広いサイバー・セキュリティを、
お客様に、ワンストップでご提供しております。

IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019

5年連続!!

400名

～ 重要インフラを守る！ IoT化で求められるセキュリティ ～



プログラム

■ キーノートスピーチ

arm

aingura IoT

同時
通訳

■ パネルディスカッション

RITSUMEIKAN

情報理工学部/情報理工学科
教授 上原 哲太郎 氏

デロイト トーマツ サイバー合同会社
トレンドマイクロ株式会社
アドソル日進

■ 個別セッション

デロイト トーマツ サイバー合同会社
トレンドマイクロ株式会社
菱洋エレクトロ株式会社、アドソル日進

概要

◆日時 2019年10月11日 12:00～18:00

◆会場 グランドプリンスホテル高輪

◆主催 アドソル日進

◆協賛 LYNX SOFTWARE TECHNOLOGIES

KONICA MINOLTA

SIEMENS

株式会社たけびし

TREND MICRO

VALUE HR

RYOYO

展示会



Lynx Software Technologies, Inc.、コニカミノルタ株式会社、
トレンドマイクロ株式会社、株式会社バリューHR、株式会社たけびし、Siemens、
菱洋エレクトロ株式会社、株式会社マクニカ、立命館大学
株式会社GKI、Top Out Human Capital株式会社、アドソル日進

26

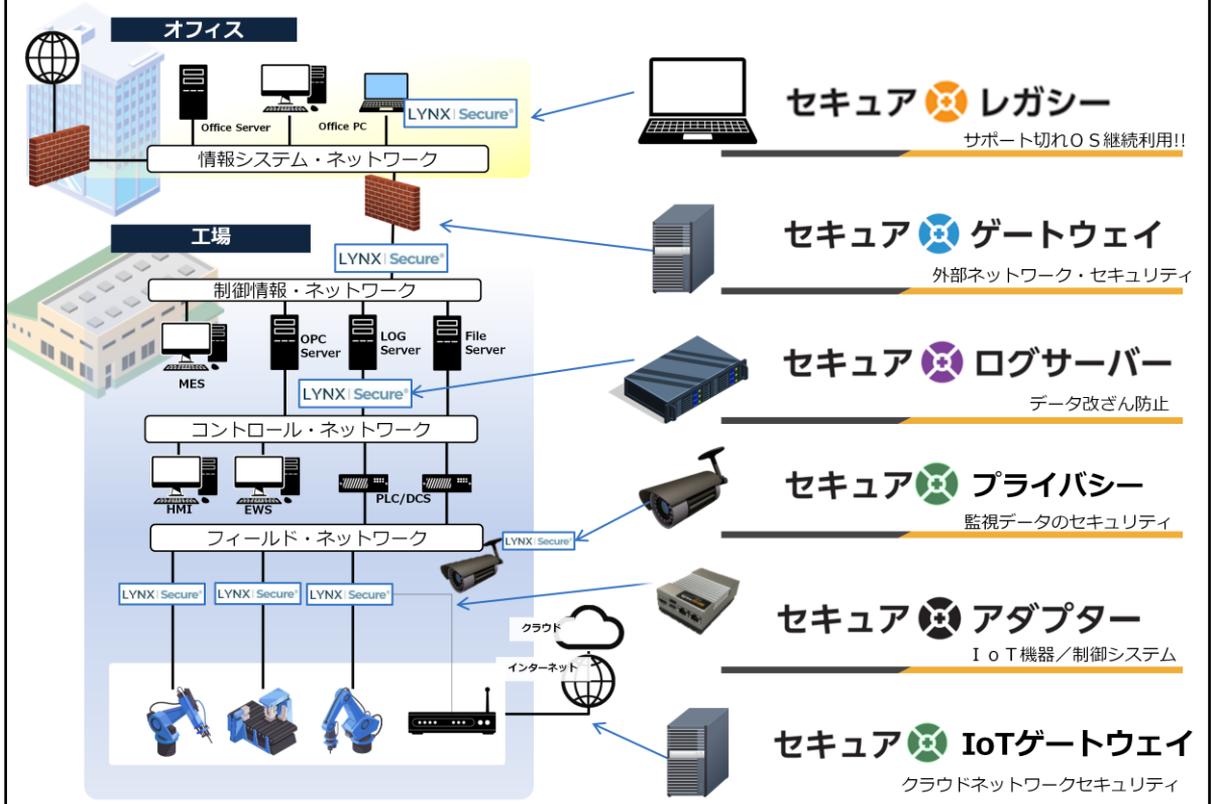
セキュリティブランドの強化として、
昨年「10月」には、「5年連続」となる、
「IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019」を開催しました。

半導体の「アーム社」や、
欧州で、IoTビジネスを推進する「アイングラ社」より、
「IoT・セキュリティ」の最新事例を、講演をいただきました。

また、IoT・セキュリティの、第一人者として活躍される
立命館大学の「上原教授」をモデレーターに、
パネルディスカッションを行いました。

当社、及び、協賛会社様からは、
最先端の「IoT」や「セキュリティ」に関する
講演や、展示を行いました。

「400名」を超える、お客様をご招待し、
大変、大きな反響を、頂きました。



ここで、当社が注力する「IoT・サイバー・セキュリティ」のソリューション・ラインアップをご紹介します。

ご覧の図は、「本社オフィス」と、「大規模工場」をモデルに、当社の、セキュリティ・ソリューションの適用領域を、描いたものです。

オフィスから、工場ネットワークの、幅広い領域で適用されるセキュリティ・ソリューションを拡充して参りました。

おかげさまで、採用事例も増えてきており、また、ソリューション拡充に向けた、PoC(実証実験)も同時に、進めております。

今後も、ラインアップを拡充し、「IoTセキュリティのアドソル」ブランドを強化してまいります。

宇宙・安全保障分野

“ 日・米 共同展開 ”



社会インフラ

「エネルギー(電力・ガス)」

「道路・鉄道」

「航空・宇宙」

「公共・防災」

「通信ネットワーク」など

先進インダストリー



IoT・サイバー・セキュリティ

新分野!!



宇宙・安全保障分野へ 日米・共同事業展開!!

次に、当社は、昨年11月に、米国リンクス社と、「宇宙・安全保障分野」向けの「日米・共同事業展開」に、合意しました。

当社は、30年以上にわたり、米国リンクス社と、リアルタイムOSの、「リンクスOS」や、IoTセキュリティの、「LynxSECURE」等、リンクス社の、「全IoTソリューション」を、国内のお客様に、独占提供しております。

米国リンクス社の製品は、米国航空局の、最高レベルの要求を満たしており、高機能・品質に、定評があります。

こういった、高い技術力を背景に、高いレベルでの、「技術」や「セキュリティ」が要求される「宇宙・安全保障分野」にサイバーセキュリティや、IoT・DXソリューションの提供を推進してまいります。

防衛・セキュリティ総合展示会

日・米
共同!!

“ セキュリティ ” “ 災害対策 ” “ IoT ”

概要

- ◆会期 : 2019年11月18日～20日
- ◆会場 : 幕張メッセ 第7・8ホール
- ◆出展団体 : 国内外の大手・最先端メーカーなど

Supported by



<https://www.dsei-japan.com/jp>

出展概要

LynxSECURE セキュリティ・ソリューション



- ◆セキュア・ラップトップ
 - ・ネットワーク完全分離
- ◆リアルタイムOS : LynxOS 178
 - ・米連邦航空局 (DO178B/C) 規格
- ◆アドソル・ブランド
 - ・Lynx 社との協業 (30年以上!!)
 - ・セキュリティ領域への展開
 - ・社会インフラ・ミッションクリティカル



この、米国リンクス社との、「宇宙・安全保障分野」向けの、「日米・共同事業展開」の、第一弾として、国内初開催となる、「DSEI-JAPAN : 防衛・セキュリティ展示会」に出展しました。

期間中は、最先端の領域を 取り組む、ワールドワイドの、「企業関係者様」が当社ブースに、来場いただき、宇宙・航空向けの、「LynxOS178」や、サイバー・セキュリティを強化した「モバイル端末」、当社の、社会インフラや、IoTシステムでの40年以上にわたる、幅広い実績を、ご紹介しました。

「宇宙・安全保障分野」で、サイバーセキュリティや、IoT、災害対策などのソリューション提供を推進し、技術力の強化と、アドソル・ブランドの向上につなげてまいります。

アドソル日進 の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム 2019
- 3) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド活動

- 1) プロモーション活動
- 2) 高品質への取組み

4. ご参考



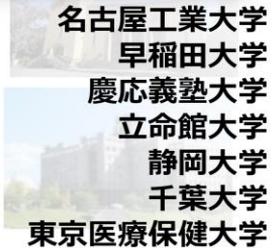
次に、アライアンス活動について
ご説明します。

「コンサルティング」「セキュリティ」「グローバル」「IoT」

アライアンス



産学連携



アドソル日進

グローバル



研究団体



当社の、アライアンス活動は、

「コンサルティング」、「セキュリティ」、
「グローバル」、「IoT」などをキーワードに、

高度な専門性を有する、国内外の、企業との
アライアンス戦略を、積極的に、推進しております。

また、各大学との共同研究・産学連携や、
先進領域での、業界団体活動、
「米国サンノゼ R&Dセンター」を通じた、
最先端の、技術習得を、推進しております。

産学連携で、「市場創成」「最新技術」

名古屋工業大学

・「制御システムのサイバー攻撃対策」

- ◆「つるまひプロジェクト」
制御システム（工場、プラントなど）の、サイバー攻撃・防御技術・制御製品のセキュア化技術研究



名古屋工業大学



模範プラント

早稲田大学

・「EMS 新宿実証センター」

- ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省 日本初
- ◆電気・ガス、通信、住宅、自動車、家電など「26法人」
- ◆複数メーカーの機器連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

立命館大学

・「IoTセキュリティ
/組み込みマルチコア」

- ◆産学連携協定
 - ・最新テクノロジーの研究
 - ・IoTセキュリティ・ガイドライン
 - ・IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアム
 - ・人材の育成

- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
 - ・組み込み「マルチコア制御シ



毛利研究室との共同研究



協定締結式

慶應義塾大学

・「GIS×IoTプラットフォーム」

- ・「i-Construction」（国土交通省推進）
- ・「地理情報システム学会」
- ・「ベルモント国際共同研究」



慶應義塾大学毛利研究室との共同研究



第27回学術研究発表大会



まず、産学連携としては、

- ・名古屋工業大学との、「制御システムでのサイバー攻撃対策」
- ・早稲田大学との、「EMS関連」、
- ・立命館大学との、「IoTセキュリティ」、
- ・慶應義塾大学との、「GIS(地理情報)関連」

などを、各大学と、取り組んでおります。

今後も、「医療・セキュリティ・教育」など様々なテーマで、他の大学や、研究機関と共同研究を進めています。

立命館大学 「産学連携協定 締結」

～ IoTセキュリティ分野 を主とする 科学技術の発展 ～

1 セキュリティに関する
最先端テクノロジーの研究

IoTセキュリティ・
ガイドライン

2

Point !!

3 IoTセキュリティの、
“研究センター”
“コンソーシアム”
設立



IoTセキュリティ
人材の育成

4



立命館大学 草津キャンパス

産学連携協定 協定締結式



協定締結式、及び共同記者会見を開催



(2019年4月：立命館大学 東京キャンパスにて)

昨年4月に、立命館大学と、IoTセキュリティ分野を、主とする科学技術の発展を目指す、「産学連携協定」を締結し、共同で、協定締結式と、記者会見を行いました。

今後は、最先端テクノロジーの研究などに加え、将来的には、「研究センター」や「コンソーシアム」を設立し国内の、IoTセキュリティでの、「最先端の拠点」を視野に、活動していきます。

「最先端R&D：米国」 「グローバル開発：中国2拠点・ベトナム3拠点」



34

次に、グローバル展開をご説明します。

米国では、
子会社の「サンノゼR&Dセンター」にて、
「IoT・セキュリティ」の、
「研究開発」や「実証実験」と、「ビジネス展開」を、
推進しております。

アジア、アセアン圏では、
国内のお客様の、
「ハイレベルなご要望」と、
「増加するICT需要」にお応えするための、
開発体制を、
「中国2拠点」、「ベトナム3拠点」で、対応しております。

新会社「アドソル・アジア社 設立!!」

海外5拠点

- ◆社名 : アドソル・アジア株式会社
- ◆本社 : 東京都港区港南4-1-8
海外拠点 : 中国2拠点、ベトナム3拠点
海外パートナー : 10社



- ◆事業概要 : アジア・アセアン圏での、ICTシステムの開発、及びサービスの提供

ICTシステムのグローバル開発!!

- ◆アジア地域 : システム開発推進・体制強化
- ◆ICT開発需要 拡大対応



社会インフラ企業様・製造メーカー様・IoT機器メーカー様



この1月には、
アジア地域での、海外オフショア開発を推進する連結子会社
「アドソル・アジア株式会社」を設立しました。

この「アドソル・アジア株式会社」が中心となり、
日本国内に加え、アジア圏で拡大する、
旺盛なICT需要に

海外5拠点体制で、
（中国2拠点 : 大連・北京）
（ベトナム3拠点 : ハノイ・ダナン・ホーチミン）

日本国内の、大手の、
社会インフラ企業様や製造メーカー様向けに
ICTシステム提供してまいります。

医療情報：バリューHR社「資本・業務提携」



◆業務提携： データを保護する 高セキュリティな IoTプラットフォーム開発

◆ 健康保険組合 ◆ 医療機関 ◆ 重要データ

◆資本提携： 2%（相互保有）



2019年6月27日
アドソル日進にて



IoTプラットフォーム
(医療データなど)

<会社概要>

- ・設立：平成13年7月4日
- ・代表者：
代表取締役社長 藤田 美智雄
- ・本社：東京都渋谷区
- ・東証1部
- ・URL <https://www.valuehr.com/>
- ・事業概要：

バリューカフェテリア®システム
保険事業支援サービス
健康管理・健康支援サービス
健康管理業務支援サービス
健康保険組合の設立支援

36

次に、企業連携として、

昨年5月に、
医療情報ビジネスを、推進される、
東証1部の、「バリューHR社」と、
資本・業務提携を 締結しました。

高セキュリティな、医療情報プラットフォームの
共同開発や、展開など、
様々な連携を見据えての、提携です。

資本関連では、
相互に「 2% 」の 株式を取得することと、
しております。

ヒューマンテクノシステム・グループ 「開発体制の強化・拡充」

HTS ヒューマンテクノシステム



アドソル日進

◆幅広いICT領域で協業！

- ◆ エネルギー（電力・ガス） ◆ 医療関連 ◆ 組込みシステム関連
- ◆ 車載関連 ◆ 旅行関連 ◆ 航空関連 等



関連会社

2020年以降の ICT投資対応

開発体制強化

協業ビジネスの推進

人材交流（品質、マネジメント力）

< 会社概要 >

- ・設立：1997年6月
- ・代表者：
 - 代表取締役会長 菊池 文彬
 - 代表取締役社長 田上 秀尚
- ・本社：福岡県福岡市
- ・拠点：東京、大阪、愛知、熊本、神奈川、鹿児島
- ・グループ会社：5社
 - ヒューマンテクノシステム
 - ヒューマンテクノシステム津京
 - HTSライズ、アイブラザ、クト
- ・URL：<http://hits.kkhts.com/>
- ・事業概要：パッケージ開発・販売、ソフトウェア開発・設計・製造、ソリューションサービス、システムコンサルティング

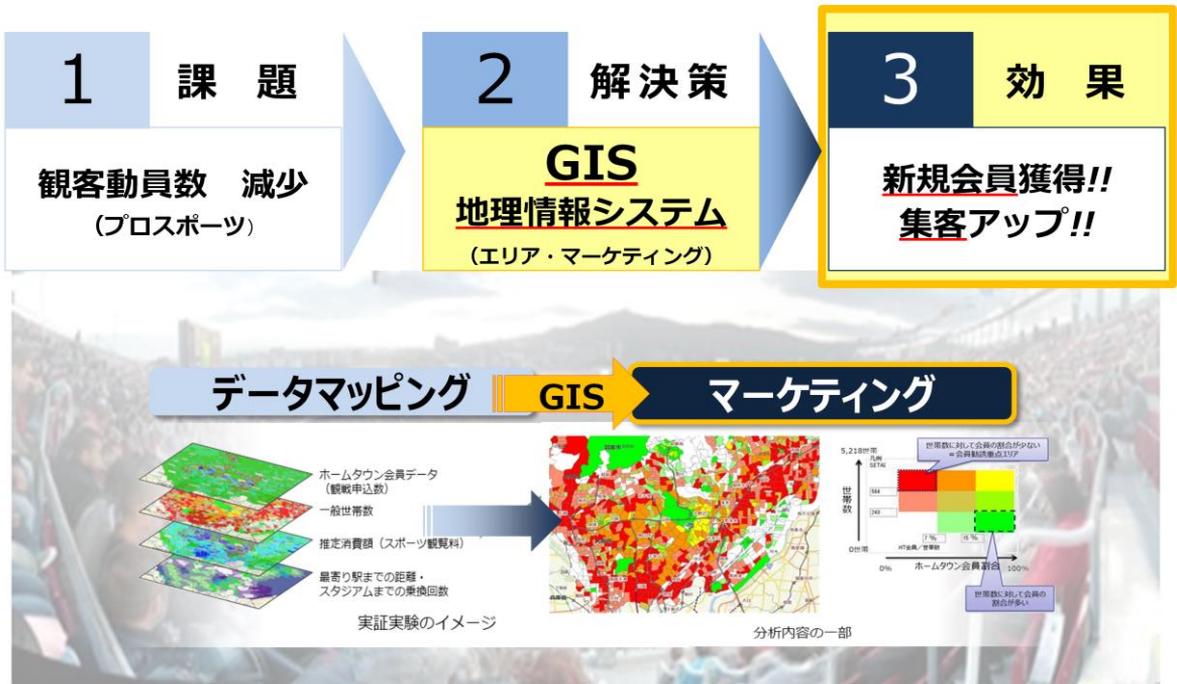


37

次に、昨年4月には、システム開発の、「ヒューマン テクノシステム ホールディングス社」の、「第三者割当増資」を引受け、当社の「関連会社」としました。

「協業ビジネス」や「人材交流」等を通じて2020年以降も、底堅いICT投資需要へ対応してまいります。

パナソニック・グループ「エリアマーケティング」 (スポーツ集客)



38

次に、企業連携と、ソリューションの拡充として、

「パナソニック インフォメーション システムズ様」と協業し、

当社の「GIS: 地理情報システム」を活用した、
スポーツチームの、エリアマーケティングを、
行いました。

展示会でもご紹介し、大変多くのお客様から、
お問い合わせをいただきました。

この、GIS: 地理情報システムをはじめ、
当社オリジナルのソリューションの拡充を
図ってまいります。

アドソル日進 の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム 2019
- 3) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド活動

- 1) プロモーション活動
- 2) 高品質への取組み

4. ご参考



39

次に、
アドソル日進の、ブランド戦略について
ご説明します。

「米国 RSAカンファレンス 2020」 4年連続出展



展示概要



概要

- ◆日時 2020年2月24日 ~ 28日
- ◆会場 The Moscone Center (米国サンフランシスコ)

- ・1993年より、毎年開催。
- ・世界最大の、最先端のセキュリティ専門カンファレンス&展示会 (IT技術、標準規格、実装、法規格、政策、セキュリティ脅威など)

ミニセミナー



日本パビリオン

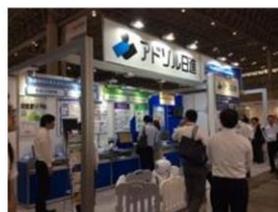


プロモーション活動としては、
米国、サンフランシスコでの、
世界最大のセキュリティ専門カンファレンスである、
「RSAカンファレンス」に、
4年連続で出展しました。

欧米での、最新の
IoTセキュリティの情報収集と、
研究開発活動に、
今後も注力してまいります。

「フォーラム・セミナー・展示会」へ、積極的に参加

- ◆第1回 クリニックEXPO (2020/2/26~28日 インテックス大阪)
- ◆第4回 スマート工場 EXPO (2020/2/12~14 東京ビッグサイト)
- ◆東北電力グループ: TOiNX 働き方改革フェア 2019 (2019/11/21~22 東二番丁スクエア)
- ◆ET & IoT Technology 2019 (2019/11/20~22 パシフィック横浜)
- ◆慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2019 (2019/11/22~23 東京ミッドタウン)
- ◆地理情報システム学会 第28回学術研究発表大会 (2019/10/19~20 徳島大学)
- ◆横浜国立大学 第4回 IoTセキュリティフォーラム (2019/7/30~31 御茶ノ水ソラシティ)
- ◆Interop Tokyo 2019 (スマートジャパンアライアンス、2019/6/5~7 東京ビッグサイト)
- ◆第15回 GISコミュニティフォーラム (2019/5/23~24 東京ミッドタウン) (ほか)



41

このほか、先ほどご紹介しました、「IoT時代のセキュリティフォーラム」のほか、ご覧の、フォーラム ・ セミナー ・ 展示会へ参加し、

当社独自のスマート・ソリューションやセキュリティ・ソリューションの訴求と、

当社ブランドの向上を図っております。

高品質な ICTシステム



42

次に、当社では、
高品質な ICTシステムを、ご提供するため、
「品質」への取組みに、注力しております。

「プロジェクト マネジメント」、
「プロジェクト 監視」、
「独自開発の、オリジナル・ツール」、
「人材育成」の視点から、

当社独自の、取組みを 推進し、
品質力の向上に、継続して
取り組んでまいります。

アドソル日進 の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム 2019
- 3) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド活動

- 1) プロモーション活動
- 2) 高品質への取組み

4. ご参考



<以下、ご参考情報になります。>

社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

通信・ネットワーク分野

次世代通信 (5G) など、通信関連のICTシステム



先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システムなどの、基盤系ICTシステム

ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS (地理情報システム) 等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業、と
先進インダストリー事業の
概要でございます。

IoX総合エンジニアリング事業

「安心・安全な超スマート社会（Society5.0）」の実現に向け、IoTサイバー・セキュリティ・ソリューションを中核に、AI・ビッグデータ・GIS（地理情報システム）・無線通信等の当社独自のソリューションを提供しています。

セキュリティ・ソリューション

- ・コンサルティングから、IoT機器向けセキュリティまでを、トータルで提供します。
- ・IoT機器向けセキュリティ・ソリューション：LynxSECURE（リンクスセキュア）
 - 生産工場をまるごと守る : SECURE FACTORY
 - オフィスを守る : SECURE RESCUE for Legacy
 - 建設現場を守る : SECURE RESCUE for USB
 - 病院・介護施設を守る : SECURE RESCUE for ClosedNET
- ・フィジカル・セキュリティ（人体通信） ・脆弱性診断サービス
- ・セキュリティ・コンサルティング・サービス（ガバナンス・コンプライアンス）
- ・ネットワーク・セキュリティ ・セキュリティ人材育成・教育サービス など

無線通信ソリューション

- ・IoTシステムに必要な不可欠な無線通信を総合的に提供します。
 - uLocation（屋内での位置検知システム）
 - uStack（近距離無線通信 LPWA、Nb-IoT、Zigbee®等）
 - tACCESS（独自特許の、電界通信システム）
 - uLook（電力などの見える化システム）など

GIS（地理情報システム）

- ・GIS（地理情報システム）の「コンサルティング」「システム開発」「PoC」「ソリューション」などをワンストップで提供します
- ・SUNMAP@ソリューション
 - SUNMAP for Crisis（BCPや危機管理支援）
 - SUNMAP for VRP（配送ルート計画支援）
 - SUNMAP for SER（商圏分析、マーケティング、現地調査ほか） など



IoX総合エンジニアリング事業の概要でございます。

2020年4月 新卒社員

- ◆ 人数 : **47名**
 - ・大学院 14名
 - ・大学 33名
 - ・グローバル人財・・・2名
(ベトナム人留学生)
- ◆ 職種 : 技術エンジニア



2021年4月 新卒採用

- ◆ 採用計画 : **50名**
- ◆ 職種 : 技術エンジニア



※2019年10月1日、内定式の模様 46

人財への取組みをご紹介します。

採用活動としては、
昨年、2019年4月に、新入社員40名が、入社しました。
本年、2020年4月には、47名が入社しました。

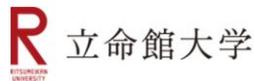
2021年に向けては、
50名を目標に、採用活動を進めております。

あわせて、経験者採用にも積極的に取り組んでおります。

海外インターンシップ (米国サンノゼ)

米国
初開催!!

ハイレベル人材育成 : 「OS」・「セキュリティ」



期間 : 2019/8/26~9/20 (20日間)

参加者 : 3名 (学部3回生1名、修士1回生2名)

研究と成果開発



◆研究課題

ネットワーク分離された環境におけるデータ参照

◆成果発表

IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019
展示会にて研究成果発表

(2019/10/11)

◆報告会

立命館大学にて、「海外インターンシップ報告会」
(2019/10/30 立命館大学にて)



インターンシップでは、初となる、
米国サンノゼでの インターンシップを開催しました。

研究成果は、昨年10月に開催した
IoT時代のセキュリティフォーラムの展示会で
発表しております。

今後も、様々な機会を通じて、
産学連携の人財育成に努めてまいります。

対象株主 & 時期

■ 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）

- 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
- 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQ U Oカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

● 保有期間特典

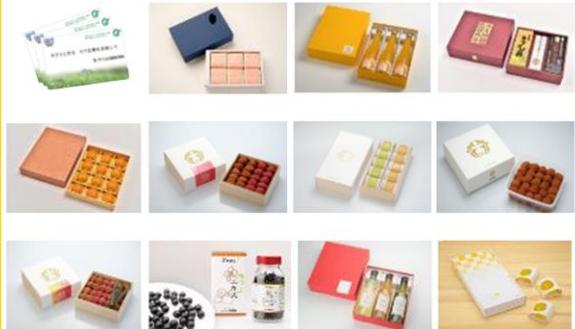
1年以上で Q U Oカード1枚（500円相当）を
年間 2枚 追加贈呈



■ 4,000株以上

● 「緑の募金」付きQ U Oカード（3,000円相当） 又は

- 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等から選べる株主優待カタログ（3,000円相当の商品から一品）を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

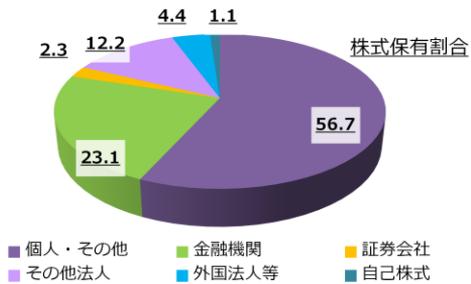
株主還元として、「配当」に加え、

「保有株数」に応じた「優待制度」を設けており、
「梅ギフト」や「お米」、「クオカード」などを

年2回、
贈呈させていただきます。

会社概要

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川 TEL:03-5796-3131 (代表) FAX:03-5796-3265 (代表)
拠点	大阪、福岡、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役社長 上田 富三
資本金	5.2億円
決算	3月
事業内容	独立系のICT企業として、 社会システム事業を中核 に企業や公共向け情報システムの開発、及び ソリューションの提供並びに商品化と販売
従業員数	1,164人 (グループ総数)
売上高	133.1億円 (2020年3月期)
上場市場	東証1部 3837
発行済株式数	9,299,460株 (2020年3月31日現在)
子会社	国内 アドソル・アジア (株) 米国 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)
業務提携先	米国 Lynx Software Technologies, Inc. 中国 大連運壽科技有限公司(Weavesoft Ltd.) ベトナム 3S Intersoft JSC United Technologies Corporation Individual Systems



アドソル日進の、会社概要です。

本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述も、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



URL <http://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージ品川9階、10階
TEL : 03-5796-3131 (代表)
管理本部 経営企画部 広報・IR担当 TEL : 03-5796-3261
メール : ir@adniss.jp

以上で、
「2020年3月期」決算の
ご説明を 終わらせていただきます

ありがとうございました。